

一 般 質 問 通 告 書

令和5年5月10日

議 会 議 長 様

議席番号 4 番

議員氏名 野 口 俊 彦

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 少子化対策 及びこども・ 子育て支援に 重点を置いた 取組は	国におけるこども政策では、次元の異なる少子化対策の実現に向け、各分野において横断的で総合的な施策を講ずるべく、本年3月31日にこども政策担当大臣が「こども・子育て政策の強化について（試案）」を公表しました。 また、4月1日には、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進して行くための包括的な基本法として「こども基本法」が施行、同じく「こども家庭庁」が設置され、今後取り組むべき施策の検討をスタートさせています。 そこで、当町では、今後これらの問題をどのように検討し解決していくのか、以下伺います。 (1) 少子化対策の課題の一つとして、多くの若者がいずれは結婚したいと思っているものの、現実的には結婚できず、また結婚しても子育ての将来像が描けないと言う声が多い状況が続いている。そのため国では、これから夫婦として新生活をスタートする世帯を対象に結婚新生活支援事業を実施するなど、様々な施策を展開している。近隣では、春日部市や松伏町が同事業を実施しているが、町の考えは。 また、結婚支援への取組は検討されているのか。	町長 副町長 総合政策課長 子育て支援課長 健康支援課長 担当課長

5月10日 午前・午後 0時45分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	(2) 国は、今後こども政策を総合的に推進するため、政府全体のこども施策の基本的な方針等を定める「こども大綱」を策定するとしている。 当町においては、令和6年度の「第3期杉戸町子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、本年度はニーズ調査を実施する予定となっているが、国・県が策定する計画との整合性はどのように図っていくのか。 また、アンケートの調査内容や計画策定までのスケジュールはどのように考えているのか。 (3) 妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援の取組として、伴走型相談支援（出産・子育て応援給付金）が開始された。当町における対象となる妊婦や保護者との面談、相談体制はどのような状況か。 また、妊娠中の悩みや子育て方法、生活支援等に対する各種相談について、関係機関との連携、協力体制はどのように図られているのか。	